

結核の話 第2回 なぜ今、結核なのか？



さて、結核の話の2回目です。今回は今なぜ結核が問題なのか？をお話したいと思います。前回、書いたように結核の薬ができたおかげで患者さんは減ったはずですが、今、何が問題なのでしょう？

その1:結核再興の問題

結核は減っていると書きましたが、実際には1996年から3年間は結核患者の発生が増加しています。国は「結核緊急事態宣言」を出して注意を喚起しました。その結果、結核は「再興感染症」として再び注目されるようになりました。実際、外国と比べると日本の結核は決して少なくありません。人口10万人あたりの患者の数で言うと日本は15人ほどです。米国の2.9、ドイツの5.5、フランスの7.6などに比べるとまだまだ多いのです。結核に関しては胸を張って先進国といえるような状態ではありません。

その2:集団感染の問題

最近の結核は、前回の渋谷警察署の話のように集団感染や病院などの医療機関で発生する院内感染の形を取ることが多くなっています。結核の約1/4は家庭で発生していますが、残りのほとんどは医療機関、事業所、社会福祉施設などで発生しています。若い世代で結核に免疫を持たない人が増えたことや、診断の遅れが一因といわれています。

その3:重症化、重症例の増加の問題

結核と診断されて治療を始めた人の10%の患者さんが命を落としています。そのうちの半分は診断されて1年以内に死亡されています。重症な方が以下に多いかお分かりかと思います。これにはいろいろな要因があると考えられます。集団感染の項でも書いたように診断の遅れもありますが、そのほかの要素も大きいのです。

★ **耐性結核菌の問題:**従来の結核の薬が効かない結核が増えています。日本ではまだ大きな問題になっていませんが、米国などでは深刻な問題になっています。

★ **結核にかかりやすい人が増えた:**体力のない人は結核にかかりやすいのです。一番に思いつくのは高齢者でしょう。お年寄りが増えれば結核は増えます。高齢の方の場合、症状が典型的でないこともありますから診断も遅れがちですし、薬の副作用も出やすいので治療も難渋することが多く、重症化もしやすい傾向があります。ホームレスなどの医療を受けにくい環境にいるひとと同様に結核にかかりやすい集団といえます。

★ **医学の進歩にともなう問題:**さまざまな病気に対して免疫を抑える薬が使用される機会が増えています。また、腎臓が悪くて透析などを行う人も増えています。このような人たちも結核にかかりやすい集団といえます。医学の進歩にともなって結核にかかりやすい人が増えています。

次回は、
結核の治療の実際のお話
をする予定です。
それでは。



お盆期間の休診のお知らせ
8月11日(木)・12日(金)・13日(土)・14日(日)・15日(月)は休診とさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承下さい。

北診・介護の健康まつり
11月13日(日)開催



北診だより
二〇一六年 六月号

2016年6月1日
東京都北区
東十条2-8-5
生協北診療所
TEL
03(3913)5271
「北診だより」
作成委員会発行

発行責任者
関根 覚



食中毒予防について

☆3つの原則・・・食中毒の原因菌を

つけない

増やさない

やっつける

☆6つのポイント

- ①買い物
 - ・生鮮食品は新鮮なものを買う
 - ・肉や魚は別々のビニール袋に入れる
 - ・寄り道をしないですぐ帰る
- ②保存
 - ・冷蔵や冷凍の必要な物は持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫へ入れる
 - ・冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下に保つ
- ③下準備
 - ・台所は清潔にタオル、布巾は清潔なものを用意する
 - ・野菜や果物は流水で良く洗う
 - ・冷凍食品は調理する分だけ電子レンジの急速解凍し、常温での解凍は避ける
 - ・使用したまな板や包丁はすぐに流水、洗剤で洗い熱湯をかける
- ④調理
 - ・調理前に石鹸で手洗い
 - ・肉や魚は中心部まで加熱する（75℃以上で1分間異常）
- ⑤食べる時
 - ・食前には石鹸で手洗い
 - ・料理は放置せずすぐに食べる
- ⑥残った料理
 - ・冷蔵庫で保存する
 - ・温め直しは十分に加熱する
 - ・時間が経ちすぎているか少しでも怪しいと思ったら捨てる



もしも、腹痛や水のような下痢が何回も続いたり、血便があったらすぐに医師の診察を受けましょう！

透析室 森

学習会行いました

大場先生より“年をとっても元気で生活するために”という講義が5月28日の午後 外来ホールでひらかれました。ある日、突然ケガをして動けなくなるということが起きないように、その為には、「まだ、自分は大丈夫」という自信過剰は危険ですと、他、誤嚥、皮膚の乾燥・かゆみ、睡眠障害の予防についてなど、終始、笑顔で、時にユーモアを交えてのテンポのよい、わかりやすい先生のお話により、各支部の組合員の方25名、職員4名にも、笑いが湧き、和やかな雰囲気での学習会となりました。



主催：生協北診療所・事業所利用委員会
健康で長生きするために
 講師：生協北診療所 大場俊英



5月14日（土）王子5丁目団地支部総会で生協王子歯科の伊東さんをお迎えして「お口の健康チェック」の学習会を開きました。口の中が酸性になると虫歯になり易くなります。歯ぐきから血が出たり、赤くなるのは歯周病の疑いがあります。初期の段階では痛くないので要注意。日頃からチェックして早めの受診が大事です。また口呼吸は病気の元です。「あいうべ体操」で鼻呼吸に戻すことができます。食べる時以外は歯と歯は離し、上顎のへこみの中に舌をつけることで口呼吸を防ぐことができます。お口の健康チェックをしっかりして8020を目標にしたいですね。有意義な学習会になりました。

「お口の健康チェック」



介護通信 Vol.1



生協北診療所併設の介護老人保健施設ほくと はなみずきをご案内いたします。
介護老人保健施設（老健）ってどんな所？
 病状が安定期に入って在宅復帰に向けて介護や医療を必要とする方を対象に
 ＊医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、リハビリテーション、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスを、専門スタッフが協働で、利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせて提供します。
 ＊入所施設だけでなく、**短期入所や通所リハビリテーション**としてのサービスを提供しています。